

会 議 議 事 録

1. 日時等

日時	令和 8 年 1 月 14 日（水） 10:00～11:00
場所	日之影町民ホール
会議名	令和 7 年度第 3 回日之影町地域公共交通会議

2. 開会

3. 会長あいさつ

4. 報告事項

○事務局より以下の事項（１）～（２）について説明を行い、その内容について質疑・意見交換及び採決を行った。

（１）すまいるバス・予約型乗合交通の利用状況について（資料１）

（２）令和 7 年度地域公共交通確保維持改善事業費国庫補助金申請について（資料 2）

※質疑なし

5. 議事

○事務局より以下の事項について説明を行い、その内容について質疑・意見交換及び採決を行った。

（１）令和 7 年度地域公共交通確保維持改善事業の評価（事業評価）について（資料 3）

国村委員

先日、別の自治体の交通会議の中でも、大井委員から意見があったが、事業評価の評価について、結果が出ているが、評価がされていない。

例えば、平均利用頻度が何％だったというのが、目標の町の求める数字に対して、どういった数字なのか。また事業評価の反映状況に記載してある、高齢者サロンでの意見聴取を行った。その結果がどうなったのかというのが評価として表れていない。

乗られているお客様の反応など、どういった声で町に届いているのか教えていただきたい。

大井委員

①別添 1 の⑤目標効果達成状況について

（オンライン）

財政負担額の達成度が悪い中 B 評価で良いとする根拠が必要。利用頻度については達成できたからなのか？

達成状況の分析がない。なぜ達成できた（できなかった）のかの説明が必要。

事務局

高齢者サロンでは、時間ダイヤや宮交バスの接続、運転手の運転の仕方など、様々な意見をいただいた。中には、実際に乗っている方が、初めての乗る方と一緒に乗ったという話があり、乗ったことがない方は、第一歩目が出ず、乗りづらい

が乗ってみたら、良かった、非常に乗りやすかったと声をいただいた。

そういった意見を踏まえ、リピーターとともに新たな顧客の創出という形で、粘り強く取り組みたいと感じている。

建設技術研究所 数字の評価については、町全体の数字で目標値を設定している。財政負担に関しては、検討が必要かと思われる。八戸千については、宮交バスの延岡高千穂線の旧道経由のカバーをする目的もあるため、従来より財政負担が膨らむというのは、ある程度やむを得ないと思うが、どの程度の財政負担までが妥当なのかというところの判断が現状ではつかない。

一方で住民一人あたりの利用頻度では、路線バスとコミュニティバスに切り分けた数字を見ると、当初想定していた令和9年度の計画の最終目標を達成している。

特に予約型乗合交通の方の利用が伸びているというところが、そのあたりに貢献していると考えている。

山本委員 免許返納者へ予約型乗合交通の案内を行ったとのことですが、免許返納者へ向け、乗り方体験や講座を行ってみてはどうか。

事務局 予約型乗合交通に関しては、利用例を交えたチラシを町民皆さまに配布している。また同じような形で、目に見える形での周知も行い、今後も検討しながら、分かりやすく丁寧に説明を行いたい。

川西委員 掲げられている目標は今後、上がるのか、下がるのか。

事務局 町全体の目標値としては、令和元年、令和2年の財政負担額をキープしながら、利便性向上を測りながら効率させていくというところで、目標自体は設定している。ただ、燃料費や人件費の高騰もあり、財政負担が増加している。また人口も少なくなっており、その実情を反映させると当初設定していた目標より膨らむような方向で考えていくのが現実的である。

事業評価のあり方、仕方について、今一度定量的なもの、数字的なものをしっかり出して、今後皆さまのご意見を伺いたい。

事務局としても、引き続き運転事業者との意見交換や、皆さまとの座談会を通して、いろんな意見を聞き、より質の高い公共交通の実現に向けて努めたい。

6. 閉会

以 上